

「市の歌」の制作について（ご報告）

平成21年8月6日

教育委員会事務局社会教育課

■作詞者 梅田 俊作（網野町出身、画家、絵本作家）

■作曲者 藤原 哲也（大宮中学校教諭）

■市の歌制作の観点

「京丹後市の未来＝将来を担っていく子どもたち」

- ①未来を担う子どもたちが、ふるさとに対して興味や関心を持ち、将来ふるさとを誇りに思うことができる歌。

■市の歌に対するイメージ

- ①市民に永く歌い継がれる歌
- ②子どもからお年寄りまでなじみやすい歌
- ③将来を担う子どもたちが、京丹後市に夢を持って生き活きと歌い継いでいける歌
- ④子どもたちの心に残り、生まれ育った京丹後市に誇りと希望を持てるような歌
- ⑤新生「京丹後市」にふさわしい、将来へ向かって明るい展望が持てるような雰囲気のある歌
- ⑥市民が身近に感じ、よりどころとなるような歌
- ⑦地名などの固有名詞にとらわれず、子どもにもわかりやすい歌詞

■制作の経過

①作詞について

- ・平成20年12月16日の制定委員会で梅田俊作氏に依頼を決定。
- ・平成21年4月20日に作詞完成し成果品を受領。

②作曲について

- ・平成21年3月26日の制定委員会で藤原哲也氏に依頼を決定。
- ・作詞の提示を受け作曲に着手。
- ・平成21年7月11日に作詞者との意見調整。
作曲者の立場から文言の調整。歌い易い曲とすることで合意。
- ・作曲完成し平成21年7月31日に成果品を受領。

京丹後市歌

詞

梅田俊作

《1》

海青うみあおく 緑きりの半島はんとう 風かぜそよぐ

めぐりくる 季節きせつのなかに いだかれて

描えがく夢ゆめ 色いろ ~~根~~ ~~せ~~ ~~ず~~ ~~は~~ 魚いさな ~~や~~ ~~か~~ ~~に~~ いつまでも

ふるさと色いろは 君きみの原色げんしよく

薄墨うすずみの 雲間くもまに光ひかる 海原うなばらは

はるかなる 絹きぬの道みちと 波なみつづき

季節うらはし風に ぬかるむ大地たいち 踏ふみしめて

歩いてあるいこう 夢ゆめが道みちしるべ

さんさんと

天そらに子午線しごせん

時ときが往ゆく

世代せだい越え

伝つたえ守まもる

手てから手てに

ものづくり

ものがたりの

玉手箱たまてばこ

はるか未来みらいへ

君きみに預あづかり物もの

いにしえの 歴史れきしをたどる 丹後路たんごじは

新あたらしき 王國おうこくへと つづく道みち

手てをつなごう みなおもの思おもいが 羅針盤らしんばん

ひたすらただに 京きやう、丹後たんごの 明日あしたへ

《舞台発表用・番外》

（元気に。舞台狭しと。手をつなぎ輪になって）

あした あした きょうたんご

未来へ 明日の 京丹後

手をつなぐ 六つの町の 祭り歌

チャアチャア ションボリ トコギットントン

ザンザコザン トンロリラーリ テンキテンキ

（セリフ。呼びかけのように）

おおみや

みねやま

やさか

たんご

あみの

くみはま

チャアチャア ションボリ トコギットントン
ザンザコザン トンロリラーリ テンキテンキ

京丹後市歌の作詞にあたり、1番から4番までの歌詞につながる私の思いを書き記しておきます。

《1》

「出身地は？」と問われると、「京都府」ではなく「丹後半島」と答えます。するといつも、しばらく間があって「タンゴハントウ・・・って？」と問い返されます。そのとき私も自問しているのです。「丹後半島の出身です」と胸を張って名乗れる、そんな自分であるだろうか。そして胸に思い描くのです。自分を励まし心豊かにしてくれる古里のあれやこれやを・・・。

《2》

裏日本、日本海、丹後、うらにし・・・・・・・・。色にたとえて「灰色」と耳にすることがあります。「ところがどっこい!」。灰色は黒から白、闇から光へと無限に広がりつづく希望の色相でもあるのです。苦境、悲境、逆境と、窮地に立つとき、雲の間から差しこむ一条の光、ぬかるむ大地の底から湧きだす力は、知らずに育まれていた“うらにし魂”!・・・・・・・・。ついつい肩に力が入りましたが・・・・・・・・。

《3》～《4》

仰ぎ見る丹後の空は、なぜか万感胸にせまるものがあります。寄る年波のせい? いえいえ湿気のうるむ大気のせいかな独特のその深い色あい魅せられて、子どものころからぼうっと見あげて過ごすことが少なくありませんでした。この空のずっとむこうの、まだまだむこう、はるかな時空をこえた世界へ想いを馳せて。

歌心は丹後人を成す基のひとつとと常々誇りに思っています。幼児のころから耳になじんだ昔ばなしや語り伝えの豊かさ。そし

て、日ごろ暮らす何げないこの土地この場所も遥かなる古代の人たちもまた自分たちと同じようにして・・・、と思い描く想像力や、半島を成す山々のそのむこう、波打つ海原のそのむこうへと、心を解き放つ熱い思いが詩心を育んでくれるのかもしれない。

生き急ぐかのようにめまぐるしく変わる不安な手探りの時代。ことに織物業を基幹産業としていた丹後においてはなおさらのこと。「ところがどっこい!」。温故知新。丹後には王国をなした古代から続く歴史と豊かな自然、そして営々と受け継がれてきた先人たちの叡知があります。たとえ明日がどうあろうと、強く生きる今日、いや京丹後の歌づくりに没頭しつつ自分自身を励まし、励まされていたのでした。

なお、番外の歌詞は、市歌完成の際には児童合唱団による舞台発表とききましたので、舞台を華やかに盛りあげる演出があるといいなと作ってみたものです。振り付けなど、地元の方にお問い合わせできれば幸甚です。

2009年5月20日。

藤田 俊、

京丹後市歌

作詞／梅田 俊作
作曲／藤原 哲也

♩=116
mf

F F/E Dm7 Dm7/C B♭ Gm C7 V

う み あ お く み ど り の は ん と う か ぜ そ よ ぐ め
う す み あ お の く も り の は ん と う か ぜ そ よ ぐ め
さい すん ず さ み の と ら き し か ー る か ぜ そ よ ぐ め
い に し し え の の し せ ん た ん が ゆ く は せ せ せ
い に し し え の の し せ ん た ん が ゆ く は せ せ せ

F F/E Dm7 Dm7/C Gm C7 F V

く り く る き せ つ の な か に い だ か れ て え が
る か ー る き ぬ の な か に い だ か れ て え が
だ け ら な こ る え た へ と ー と る な て み かつ づ ぎ ち ー ち
だ け ら な こ る え た へ と ー と る な て み かつ づ ぎ ち ー ち

B♭ Gm Am D7 G7 cresc. G7 G7 C7

く ゆ め い ろ あ さ や か に い つ ま で も
に し く り ぬ か の る む だ ー り ち の ふ み して ば ー こん
づ つ な ご う み の が お も い が たら しまし て ん ば ー こん

F C/E Dm B♭ C7 F V

ふ る さ と い る は き み の げ ん し ー く
あ る い と ー り こ う ゆ め が ー み ち し る べ
は る か と み ー り へ き き む に ー あ ず け も の
た だ ひ た す ら に き ょ う た ん こ の ー あ し た へ

京丹後市[平成21年11月制定]



京丹後市歌

詞 梅田 俊作

- 一、 海青く 緑の半島 風そよぐ
めぐりくる 季節のなかに いだかれて
描く夢 色鮮やかに いつまでも
ふるさと色は 君の原色

- 二、 薄墨の 雲間に光る 海原は
はるかなる 絹の道と 波つづき
季節風 (うらに) に ぬかるむ大地 踏みしめて
歩いていこう 夢が道しるべ

- 三、 さんさんと 天 (そら) に子午線 時が往く
世代越え 伝え守る 手から手に
ものづくり ものがたりの 玉手箱
はるか未来へ 君に預け物

- 四、 いにしへの 歴史とたどる 丹後路は
新しき 王国へと つづく道
手をつなごう みなのおもいが 羅針盤
ただひたすらに 京、丹後の 明日へ